

GS-24/GS2-24

カットが途中で止まる・

データ後半がカットされない場合

以下のような症状の場合、センサーが原因と考えられます。
誤検知が発生する要因の多くは**使用環境**です。

ロールタイプのシートで**長尺データ**をカットする場合に
発生しやすいです。

【症状】

- ・ カットが途中で止まる
- ・ データの後半部分が切れなくなる

【原因】

- ・ シート検出センサーの誤検知

シート検出センサー

GSシリーズには前後にシートを検出するための光感知センサーがあります。
機械はセンサーに光が当たらないとシートがセットされていると認識し、
光が当たるとシートが外れていると認識します。

前側



後側



シート検出センサーの誤検知

しかし、シートがセットされている場合でも隙間から光が当たると、センサーがシートが外れていると認識します。
そうなった場合、機械はカットを中断します。

シートが外れた際のパネル表示



シート検出センサーの誤検知の例①

【例① 機械を置く位置が適していない】

机や台の真ん中や後ろの方に置いた場合、印刷中にシートの先端が机に引っ掛かり、シートがたわみます。そして、センサーに光が当たります。**機械の位置を動かして、シートをたわませないようにしてください。**



※机に傷がある場合もシートが引っ掛かります。

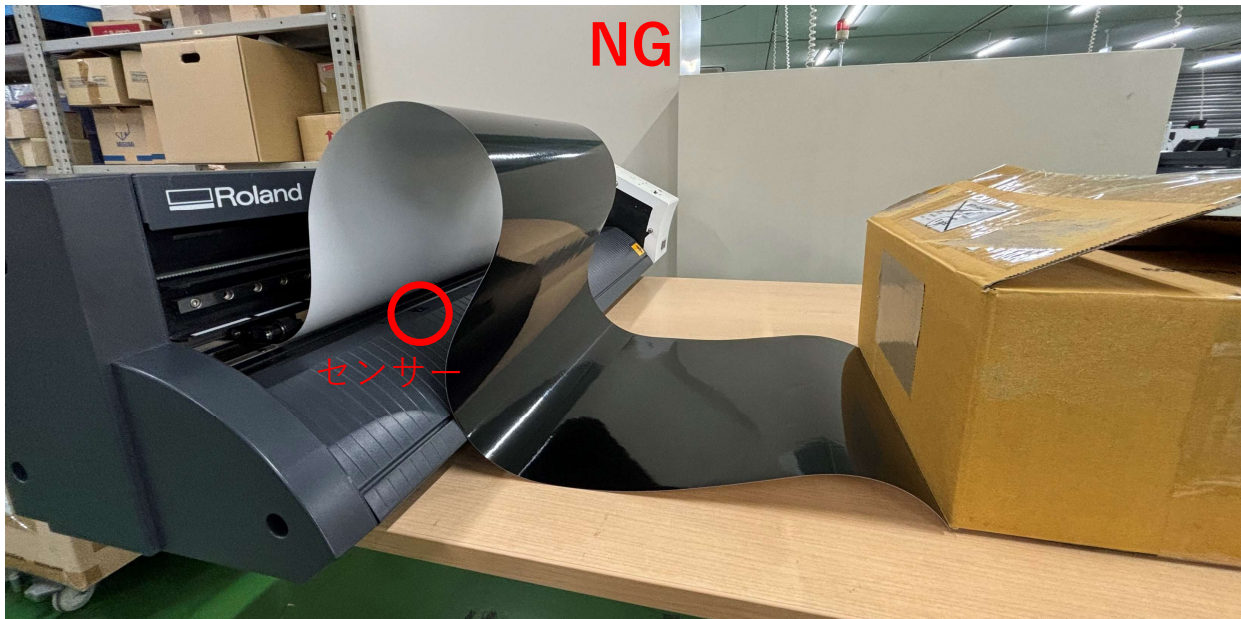
シート検出センサーの誤検知の例②

【例② 機械の前に物を置いている】

機械の前に物を置いているとシートが引っ掛かり、たわみます。

例①と同様にセンサーが誤検知を起こします。

なるべく機械の前に物を置かないようにしてください。



シート検出センサーの誤検知の例 その他

【例③ 横から光が当たる状態での使用】

部屋の中の照明や自然光など環境要因でも誤検知を引き起こします。

機械の下や横に光源を置かないようにしてください。

【例④ 反射しやすいシートを使用している】

光を反射しやすいシートを使用していると、同様の症状が発生します。